

経営比較分析表（平成29年度決算）

福岡県 吉富町

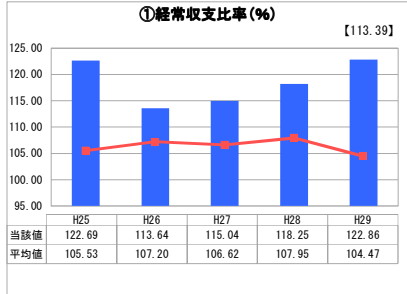
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	51.76	90.33	4,050	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,854	5.72	1,198.25
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
6,149	5.73	1,073.12

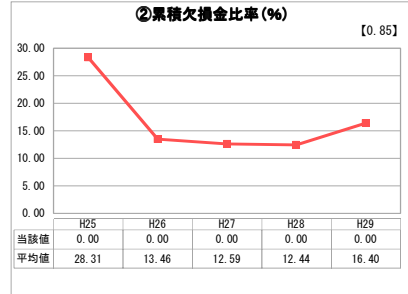
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

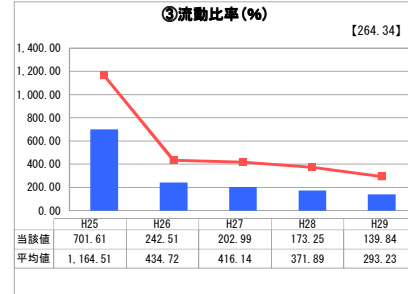
1. 経営の健全性・効率性



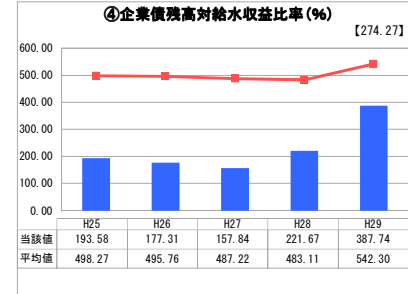
「経常損益」



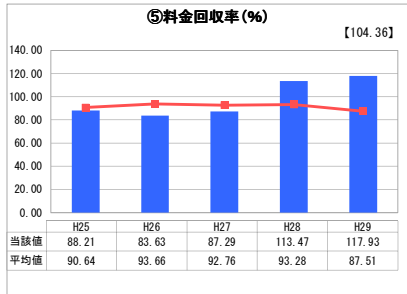
「累積欠損」



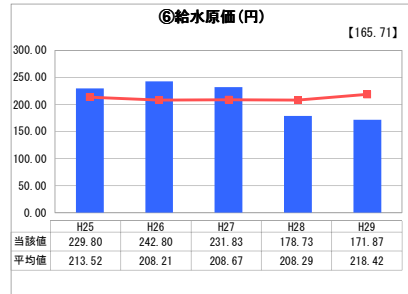
「支払能力」



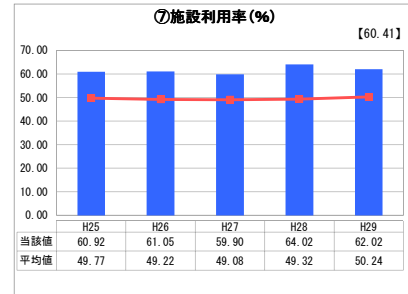
「債務残高」



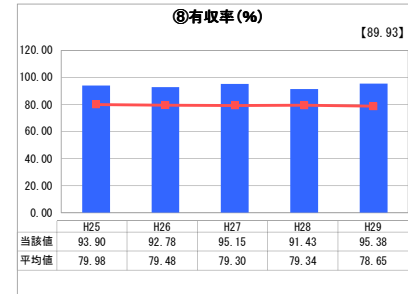
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

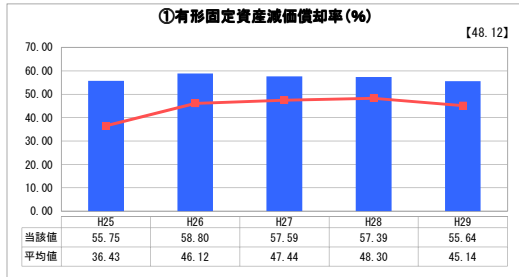


「施設の効率性」

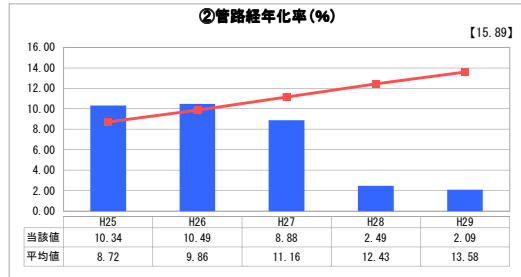


「供給した配水量の効率性」

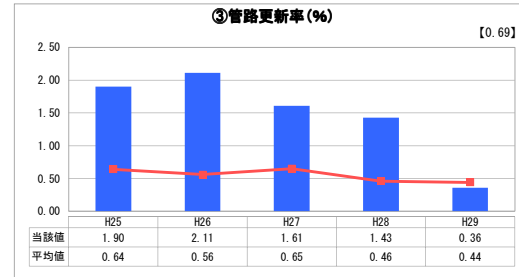
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・健全性について
 経常収支比率が100%を超えていることや、全国・類似団体と比較して上回っていることから、健全な経営状況であると考える。平成28年度以降の一般会計繰入金額削減に伴い、流動資産が減少傾向にあるが、経常費用を給水収益で賄うことができている。今後も、経営戦略に沿って計画的な経営を行っていく。

・効率性について
 施設利用率・有収率ともに全国・類似団体の平均よりも高い数値となっており、適切な利用がなされている。今後も計画的に漏水調査を行い無効水量の削減に努める。

2. 老朽化の状況について

管路については、下水道工事の施工に合わせて配水管の布設替え工事を行うことにより、老朽管を更新している。下水道普及地域についても、計画的に配水管の更新を行っていく。
 管路外の有形固定資産については、平成28年度～平成30年度に配水池本体更新工事を行う等必要に応じて更新、又はメンテナンスを行い長寿命化に取り組んでいる。

全体総括

総合的に安定した経営を行っているが、一般会計繰入金額の削減や企業債借入に伴う償還金の増加により流動資産は減少傾向にあると考えられる。今後も安定した経営を維持するため、維持管理費等削減を行うとともに、適切な料金収入の確保のため、必要に応じて料金改定等の改定を検討する。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。